

令和8年度 北海道中学校体育大会  
第47回 北海道中学校相撲大会開催要項

1. 主催 北海道中学校体育連盟・北海道教育委員会・岩見沢市教育委員会・北海道相撲連盟
2. 主管 南空知中学校体育連盟・札幌市中学校体育連盟・札幌相撲連盟
3. 後援 北海道・岩見沢市・北海道都市教育委員会連絡協議会・北海道町村教育委員会連合会  
北海道中学校長会・岩見沢小中学校長会・(公財)北海道スポーツ協会・札幌市体育協会  
北海道PTA連合会・札幌市PTA協議会・北海道新聞社
4. 会期 令和8年7月19日(日)
5. 会場 競技：札幌市中央体育館「北ガスアリーナ札幌46」  
(札幌市中央区北4条東6丁目 担当校 岩見沢市立豊中学校 TEL0126-26-2004：齋藤奈緒美)  
監督・専門委員合同会議：札幌市中央体育館 武道室
6. 競技種目 団体戦及び個人戦
7. 日程 7月19日(日)

8時45分～	9時00分	受付
8時50分～	9時50分	公開練習
9時00分～	9時50分	監督・専門委員合同会議 (札幌市中央体育館 武道室)
10時00分～	10時10分	審判会議
10時10分～	10時15分	開始式
10時25分～	11時35分	団体戦(予選・決勝)
11時40分～	12時05分	昼食
12時10分～	14時10分	個人戦(予選・決勝)
14時20分～	14時30分	表彰
14時45分～	15時15分	全国大会説明会

※参加校数によって日程の変更もあり得る。
8. 大会開催区分 北海道を21地区中体連に分けて行う。
9. 参加資格
  - (1) 北海道中学校体育連盟に加盟する中学校・中等教育学校・義務教育学校に在籍する男子生徒で、北海中学校体育大会への出場資格を得、当該学校長及び当該地区中体連会長が出場を認めた生徒とする。  
※相撲以外の夏季競技種目の地区・管内大会に参加したが全道大会に出場できなかった生徒は、地区中体連会長の承認を得て北海道中学校相撲大会に参加できる。  
(個人戦・団体戦を問わず、別競技で全道大会に出場する生徒は出場ができない。)
  - (2) 年齢は、平成23年4月2日以降に生まれた者に限る。
  - (3) 前項以外の生徒が参加を希望する場合は、令和8年6月30日までに、北海道中学校体育連盟に申し出ること。
  - (4) 参加生徒の引率者及び監督は、当該学校の校長・教員・部活動指導員とする。ただし、市町村教育委員会の判断に基づき、学校長がやむを得ないと判断した場合には、外部指導者のみの引率および監督業務の遂行を認める。
  - (5) 外部指導者は校長が認めた者で、北海道中学校体育連盟に登録された者とする。
  - (6) 監督・引率者は、部活動の指導中の暴力等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であること。外部指導者は校長から暴力等による指導措置を受けていないこと。
  - (7) チームは、単一学校で編成されたものとする。但し、地区中体連会長が認めた複数校合同チーム、実施の事業主体が市町村教育委員会または市町村中学校長会である拠点校部活動、複数校合同チームと拠点校部活動の編成はその限りではない。複数校合同チーム、拠点校部活動の監督・引率は出場校の校長または教員があたるものとする。ただし、やむを得ない場合は、代表監督・引率を認める。
  - (8) 北海道中学校体育大会における参加の特例
    - ◎学校教育法134条の各種学校在籍生徒
      - ①学校教育法第134条の各種学校(第1条に掲げるもの以外)に在籍し、北海道中学校体育連盟の各地区予選会に参加を認められた生徒であること。
      - ②参加を希望する各種学校は以下の条件を具備すること。
        - A 北海道中学校体育大会の参加を認める条件
          - ア 北海道中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
          - イ 生徒の年齢及び修業年限が我国の中学校と一致している単独の学校で構成されていること。
          - ウ 参加を希望する学校にあっては、運動部活動が学校教育の一環として、日常継続的に当該校顧問教員の指導のもとに、適切に行われていること。

B 北海道中学校体育大会に参加した場合に守るべき条件

- ア 北海道中学校体育大会開催基準を守り、出場する競技の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
- イ 北海道中学校体育大会参加に際しては、責任ある当該校校長又は教員が生徒を引率すること。また万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
- ウ 大会開催に要する経費については、必要に応じて応分の負担をすること。

◎認定地域クラブ活動に所属する中学生

- ①「北海道中学校体育大会開催基準」を満たし、その内容の履行を了承していること。
- ②『部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン』（令和7年12月22日 文部科学省）（以下、「改訂ガイドライン」と言う。）に基づいた「認定地域クラブ活動」を実施している市区町村において、当該自治体に認定された地域クラブ活動に所属した生徒であること。
- ③改訂ガイドラインに基づいて認定された「認定地域クラブ活動」として、全国中学校体育大会につながる大会に参加する場合、「令和8年度 北海道中学校体育大会 地域クラブ活動の参加特例 各競技の細則について」及び「全国中学校体育大会 地域クラブ活動の参加資格の特例各競技部細則」は適用されない。
- ④認定内容の虚偽が判明するなどして、当該自治体において認定を取り消された場合、本連盟登録承認後であっても登録ならびに大会参加を認めない措置をとる。
- ⑤改訂ガイドラインに基づいた「認定地域クラブ活動」を実施している市区町村において、当該自治体に認定されていない地域クラブ活動は、参加を認めない。ただし、当該自治体における認定制度開始日から2年間を猶予期間とし、「地域クラブ活動」としての参加は認める。（「令和8年度『地域クラブ活動』における北海道中学校体育連盟登録 申請要項」を確認の上、申請すること。）
- ⑥学校部活動、認定地域クラブ活動及び地域クラブ活動のいずれかから、1つのみ全国中学校体育大会につながる大会に参加することができる。重複は認めない。

◎地域クラブ活動に所属する中学生

- ①地域クラブ活動に所属し、北海道中学校体育連盟の各地区予選会に参加を認められた生徒であること。
- ②北海道中学校体育大会に参加を希望する地域クラブ活動は以下の条件を具備すること。
  - A 北海道中学校体育大会の参加を認める条件
    - ア 北海道中学校体育連盟の目的及び長年にわたる活動を理解しそれを尊重すること。
    - イ 生徒の年令及び修業年限が我が国の中学校と一致している（中学校に在籍している生徒であること）。
    - ウ 地域クラブ活動にあっては、日常的・継続的に代表者もしくは指導資格を有する指導者の指導のもとに適切に行われていること。
    - エ 改訂ガイドラインを遵守していること。
    - オ 当該競技を管轄する北海道競技団体もしくは地区競技団体に登録されていること。かつ同じ内容で地区中学校体育連盟に登録していること。
    - カ 北海道における予選会となる全ての大会において、競技役員や審判など運営上必要な事項に協力すること。
    - キ 地域クラブ活動で全国中学校体育大会につながる大会に参加する場合、在籍中学校での大会参加は認めない。その逆も同様である。

B 北海道中学校体育大会に参加した場合に守るべき条件

- ア 北海道中学校体育大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
- イ 北海道中学校体育大会参加に際して、地域クラブ活動においては、責任ある代表者・指導者が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
- ウ 北海道中学校体育大会への参加に要する経費については、必要に応じて、応分の負担をすること。
- エ 学校部活動、認定地域クラブ活動及び地域クラブ活動のいずれかから、1つのみ全国中学校体育大会につながる大会に参加することができる。重複は認めない。
- オ 団体競技における地域クラブ活動名での出場は1チームのみとする（複数のチームの参加はできない）。

C 参加を認めない場合

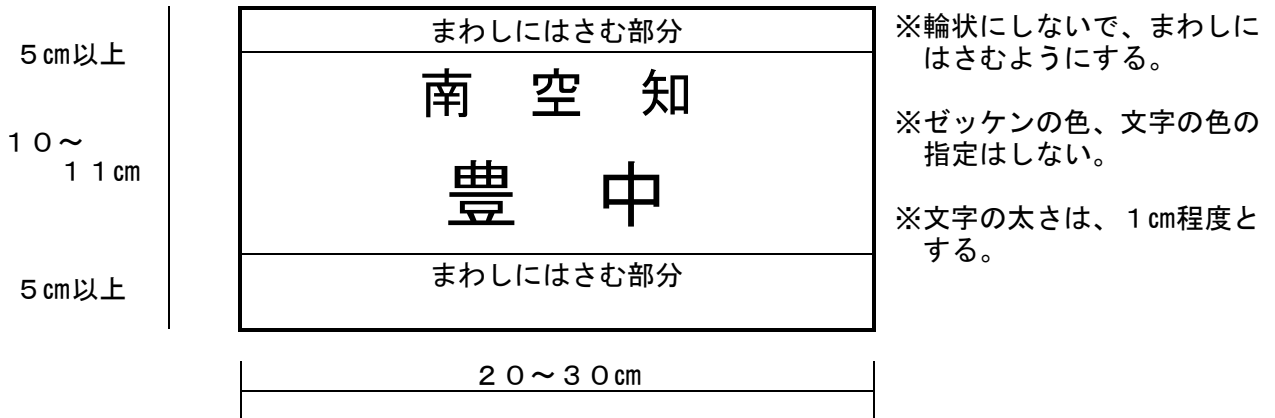
- ア 北海道中学校体育大会の参加申込に際して、参加条件に虚偽の内容が判明した場合は参加を認めない。

イ 改訂ガイドラインに基づいた「認定地域クラブ活動」を実施している市区町村において、当該自治体に認定されていない地域クラブ活動は、参加を認めない。ただし、当該自治体における認定制度開始日から2年間は猶予期間とし、「地域クラブ活動」としての参加は認める。（「令和8年度『地域クラブ活動』における北海道中学校体育連盟登録 申請要項」を確認の上、申請すること。

◎ その他の詳細は、北海道中体連相撲専門委員長に問い合わせること。

(9) 参加者は、開催要項に掲げる個人情報の取り扱いについて了承するものとする。

10. 登録人数 団体戦 1団体（校）につき監督1名、コーチ1名以内、選手2名以上5名以内、合計7名以内とする。  
個人戦 1団体（校）につき監督1名、コーチ1名以内、選手15名以内、合計17名以内とする。
11. 大会規定 (1) 本大会開催要項・(公財)日本相撲連盟競技会規程及び審判規程並びに審判規程補足を用いて行う。  
(2) 競技方法  
①団体戦は、予選3回戦を行い、勝数と得点が上位の8チームによって抽選をして、決勝トーナメント戦を行う。  
②団体戦の参加チーム数が少ないときには、リーグ戦を行う。  
③個人戦は、予選3回戦を行い、2勝以上の選手によって抽選をして、決勝トーナメント戦を行う。（参加選手が少ない場合は、リーグ戦を行う。）  
④団体戦、個人戦とも3位・4位決定戦は行わない。但し、個人戦の全国大会出場枠が3名のため、3位の選手による代表決定戦を行う。  
⑤エントリーの変更は認めない。但し、傷病等やむを得ない理由の場合、監督会議で承認を得るものとする。  
⑥出場選手は、次に定めるように21地区中体連名、学校名または地域クラブ名を示すゼッケンを付けなければならない。



12. 監督・外部指導者について 監督は責任をもって監督会議に出席する。外部指導者は監督会議に出席できない。ただし、引率が認められた外部指導者は、監督として監督会議に出席しなければならない。監督あるいは外部指導者、部活動指導員は選手と一緒に土俵溜に入場することができる。その際に選手と同様に不体裁な格好にならないように十分注意する。  
※襟付きのシャツ（原則として白を基調としたもの）、長ズボン（スカート）、靴を身につけることを原則とする。
13. 組合せ抽選 令和8年7月9日（木）16時00分より開催地（岩見沢市豊中学校校内）において主催者、開催地、専門委員長立会いのもと、公開で行う。但し、予選において同一地区が対戦しないように配慮する。
14. 参加料 団体戦1チーム 30,000円 個人戦1人 3,500円
15. 表彰 (1) 入賞は3位までとする。  
(2) 団体戦優勝チームには優勝旗（持ち回り）を授与する。  
(3) 3位までの入賞者全員にメダルを授与する。
16. 参加申込 申し込みはデータ化し、地区中体連を通じてまとめて申し込むこと。方法は以下のとおりとする。

- (1) 北海道中学校体育連盟のホームページから必要書類をダウンロードする。
- (2) 必要事項の記入と押印をし、① PDF化したデータ  
② ダウンロードし必要事項が入力されたデータをE-mailにて事務局に送信すること。【7月7日（火）12時必着厳守】
- (3) 参加料については、各地区中体連ごとにまとめて7月7日（火）までに下記口座へ振り込むこと。

送付先 〒069-0372

岩見沢市幌向南2条1丁目59番地  
岩見沢市立豊中学校 担当 齋藤 奈緒美  
TEL 0126-26-2004 / FAX 0126-26-2552

振込先 金融機関 いわみざわ農協 幌向支所  
店舗番号 008  
口座番号 普通 0046596  
口座名 北海道中学校相撲大会 実行委員長 高田 恭介(たかた ぎょうすけ)

データ送付用メールアドレス yutakac@edu.hamanasu.com

17. 宿 泊 宿泊指定、紹介はしない。
18. 全国大会への参加 本大会での団体戦優勝チーム、個人戦の優勝者、準優勝者、並びに3位になった2名のうちの代表決定戦勝者は、北海道を代表して全国大会への出場が認められる。  
「第56回全国中学校相撲選手権大会」  
開催地 〒682-0023  
鳥取県立倉吉市体育文化会館内 特設相撲場  
会 期 令和8年8月22日（土）～23日（日）  
※全国大会へ参加する際、宿泊について宿泊要項において実行委員会より斡旋されている場合は、斡旋された宿泊を必ず利用すること。
19. 個人情報  
の取扱い
  - (1) 大会参加者の氏名・所属・学年はプログラム、掲示板、ホームページ及び記録集「闘志と栄光の軌跡」へ掲載するために利用する。
  - (2) 選手の大会成績はホームページ及び記録集「闘志と栄光の軌跡」へ掲載するために利用する。
  - (3) 選手の写真は、記録集「闘志と栄光の軌跡」へ掲載するために利用する。
  - (4) 選手の生年月日は、年齢を確認するために利用する。
  - (5) 引率者または監督の連絡先は、大会運営のため緊急を要する場合に利用する。